

九州運輸局メールマガジン 平成27年6月11日 第308号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年6月25日(木)です。

## 目次

### 1 トピック

・非常体制を発令中～口永良部島の爆発的噴火に伴う迅速かつ適切な対応～

### 2 現場レポート

・国民の生命と財産を守ることを絶対的責務として

～福岡県・福岡市合同総合防災訓練に参加～

～山口県防災関係運輸3官署連絡会議を開催～

・九州で初めて盲学校生に対するバリアフリー教室開催！

～バスの乗り方・バリアフリー教室 in 熊本県立盲学校～

・南阿蘇鉄道「軌陸車」納車式

～降灰除去作業の効率化への期待を込めて～

・日本の海を守ります「ポートステートコントロール」

～巨大原油タンカーで現場研修を実施しました！～

### 3 「海フェスタくまもと」情報

・7月18日の開催まで「あと38日」！

～熊本市担当者、意気込みと現況を語る～

### 4 九州運輸局ホームページアップ情報(5月28日～6月10日掲載分)

## 1 トピック

非常体制を発令中

～口永良部島爆発的噴火に伴う迅速かつ適切な対応～

5月29日午前9時59分に鹿児島県屋久島町口永良部島新岳で爆発的噴火が発生、全島避難が行われました。鹿児島運輸支局では、3月25日に福岡管区気象台が爆発力の強い噴火の可能性を発表したことを受けて、噴火発生時の全島避難を円滑に行うことができるよう屋久島町と協議を重ね、フェリーの旅客定員の増加や運航計画の変更など関係法令に基づく速やかな対応措置を策定していました。

口永良部島民をはじめ地元自治体や関係機関の迅速、適切な行動もあり、結果として噴火発生から7時間30分後の17時30分、島民を含む125名が乗船したフェリーが屋久島・宮之浦港に無事到着し全島避難を完了することができたことは、これまでのそうした対応措置が奏功したものと胸をなで下ろしたところです。

また、島民避難後も屋久島のバス事業者全社に対し避難への協力要請、九州旅客船協会連合会、九州地方海運組合連合会への避難関連物資の輸送協力要請、口永良部島の車両の車検証の有効期間の伸長など避難後の生活の支援のために取組を行っています。

気象庁の噴火警戒レベルは、依然として最高の「5」のままで、九州運輸局では引き続き非常体制を取っており、今後も島民等の安全、安心を確保するため迅速かつ

適切な対応に努めていきます。

九州運輸局のこれまでの対応等は次のURLからご覧ください。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q.html>

(総務部 安全防災・危機管理調整官、鹿児島運輸支局)

## 2 現場レポート

国民の生命と財産を守ることを絶対的責務として(1)

～福岡県・福岡市合同総合防災訓練に参加～

平成27年5月31日(日)、東区奈多の福岡県警訓練場跡地をメイン会場として、消防・警察・自衛隊並びに地域住民など、120団体、約1400名が参加し、「平成27年度福岡県及び福岡市合同総合防災訓練」が実施されました。

訓練は、地震や津波、風水害に対応した32種類に及び、広報車による避難呼びかけ行動をはじめ、被災状況の収集・伝達訓練や、消防・警察・自衛隊並びに医療機関などが一体となった救出・救助訓練、電気・ガス・水道等のライフライン復旧訓練、がれきや放置車両の撤去など、突然の自然災害を意識して、高い緊張感の中で機敏に行われました。

また、会場内には各防災関係機関の展示ブースが設けられ、多様な災害対応特殊車両等や、河川が決壊した際の工法などのパネルに加え、緊急救命措置の訓練なども公開されるなど、参加した地域住民の方々が関心深く見学していました。

なお、公益社団法人福岡県トラック協会においては、災害時における緊急物資の輸送に関し、福岡市とは平成22年3月26日に、福岡県とは平成23年12月1日にそれぞれ協定が締結されており、今回も同協会所属の車両が出動しました。

口永良部島の爆発的噴火の際は、昨年噴火の教訓から現地にて相当回数の避難訓練を実施していたことにより、すべての住民を速やかに避難させることができました。

あらためて、日頃から心身の備えが重要であることを痛感させられた1日となりました。

福岡運輸支局では、国民の生命と財産を守ることを絶対的責務とし、災害時において迅速かつ適切な措置が講じられるよう今後もこうした防災訓練等に積極的に参加するとともに、各関係機関との綿密な情報共有に努め、実践的な災害対策を構築して参ります。

防災訓練の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_308\\_1.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_308_1.pdf)

(福岡運輸支局)

国民の生命と財産を守ることを絶対的責務として(2)

～山口県防災関係運輸3官署連絡会議を開催～

山口県内における運輸行政は、中国運輸局山口運輸支局本庁舎が県内全域の陸運行政を所管し、海事行政については山口運輸支局徳山庁舎と下関海事事務所が東西を二分しています。一つの県を二つの運輸局が管轄しているのは、全国的にも山口県

のみであり、大規模災害発生時においては両局の連携した取り組みが重要となります。

九州運輸局では、総合的かつ計画的な防災対策の実施しているところですが、6月3日、出先機関としては初めて3官署（下関海事事務所、山口運輸支局本庁舎、徳山庁舎）による連絡会議を徳山庁舎において開催し、災害発生時の情報共有体制について協議しました。

昨年12月30日、長門市で発生が確認された高病原性鳥インフルエンザでの対応を教訓に、夜間・休日の緊急連絡体制や初動体制などについて各官署ごとの役割分担を確認しました。

大規模災害発生時は情報の収集・伝達等の的確な対応が極めて重要であり、初動対応の如何が被害の軽減に大きな影響を及ぼすと言っても過言ではありません。

下関海事事務所では、国民の生命と財産を守ることを絶対的責務とし、山口県内の運輸行政を所管する両局が一体となって対応できるよう、今後も連絡会議を開催して、体制づくりや情報交換を行っていきます。

（下関海事事務所）

-----  
九州で初めて盲学校生に対するバリアフリー教室開催！

～バスの乗り方・バリアフリー教室 in 熊本県立盲学校～

九州運輸局では5月28日（木）、熊本県立盲学校（熊本市東区）において、盲学校生を対象に、九州産交バス（株）のご協力のもと、熊本運輸支局と共に、バスの乗り方・バリアフリー教室を開催しました。

従来から、心のバリアを取り除き、多様な人々の存在をお互いに理解しあい、支え合う「心のバリアフリー」を促進するものとして、公共交通事業者や小学生を対象として、各地で「バリアフリー教室」を開催していますが、今回、九州で初めての取組として、盲学校に通う児童・生徒が、将来、社会に出るときのバリア（交通機関を利用する際の不安等）を取り除くことを目的に、バスの乗り方等の体験を実施しました。

当日は、熊本県立盲学校に通う21名（幼稚部4名、小学生12名、中学生2名、高校生3名）が参加し、バスとはどんなものか、またどうやって乗るのかなどを体験しました。

まずはじめに、普段はじっくり触ることが出来ないバスを外側、内側から触って感じました。バスの大きさ、タイヤ、ワイパー、ブレーキランプ、車内の座席や手すりなど細かい部分まで時間をかけて体験しました。次に、実際にバスを動かし、体験乗車を行いました。乗車の時にどういうところに注意するかなどを講師の方から教わり、乗る時のICカードのタッチや降りる際の動作などを体験しました。

乗合バスに乗ったことのある生徒もいましたが、いつもは急いで乗って、すぐに降りるだけでじっくりとバスを感じる事が出来ないため、「今日だけは自分たちのためのバス」を、とても喜んで体験していました。参加した盲学校生からは、「教えてもらった通りにちゃんと乗れた。」「将来、バスに乗るときの自信になった。」などの感想がありました。また、たくさんの盲学校の先生方にも参加頂き、「生徒

達の心にも残ったと思う。」と口々におっしゃっていました。テレビ局と新聞社の取材もあり、バリアフリーに対する関心の高さがうかがえました。

今後も九州運輸局では、このような取り組みを通じて、「心のバリアフリー」の推進に努めてまいります。

バリアフリー教室の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_308\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_308_2.pdf)

(交通環境部消費者行政・情報課)

-----  
南阿蘇鉄道「軌陸車」納車式

～ 降灰除去作業の効率化への期待を込めて ～

6月2日(火)、南阿蘇鉄道高森駅において「軌陸車」納車の式典が行われました。出席者は、高森町長をはじめ、熊本県、沿線自治体長、沿線自治体議員等、約40名で、当局から前本鉄道部長が出席しました。

南阿蘇鉄道では、昨年11月25日に阿蘇中岳が噴火、現在も噴火は続いており、火山灰は高森町、南阿蘇村に集中し、降灰の影響を受けています。

鉄道レールには、列車を検知するシステムが備わっており、湿った降灰がレールを覆うと漏電のため電位差により列車を検知するシステムが正常に作動しなくなる恐れがあり、信号機や踏切の電気回路で誤作動が発生し、列車の安全運行に障害を及ぼすことから、線路の降灰除去作業を行わなければなりません。これまでは始発列車前の夜中に、職員総出による人力により除去作業を行っており、特に冬場は湿った降灰がレールに凍り付き、大変な時間と労力を要していました。

そこで列車の安全運行、職員の負担軽減及び降灰除去作業の効率化を図るため保守用車両「軌陸車」(線路も道路も走行可能)の導入について、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助事業による導入相談が当局にあり、熊本県、沿線自治体の支援も決まったことから、今年度の補助金により導入が決定したものです。昨年12月末に相談があったから5ヶ月足らずで導入できたことは、国、熊本県、沿線自治体と連携がスムーズに行われたからと考えています。

入魂式(神事)後に納車式があり、来賓挨拶で前本鉄道部長が「軌陸車」の導入により、降灰除去作業が効率化され職員の負担軽減になった分、更なる安全確保に尽力をするよう挨拶を行いました。その後、「軌陸車」による降灰除去作業の実演が行われ、各報道機関の取材カメラが「軌陸車」を取り巻き撮影するなど関心の高さが伺えました。

九州運輸局としても、利用者増に繋がる取組や安全に係る施設設備等について、今後も協力、支援して参ります。

南阿蘇鉄道では、現在、台湾からの団体ツアー客が多く押し寄せています。トンネル、橋梁、車窓の風景に感動している様子が伺えます。台湾にない風景なのでしょうか。日本の原風景なのでしょうか。皆様も熊本、阿蘇に行かれる際は、ぜひ南阿蘇鉄道に乗ってみてはいかがでしょうか。

「軌陸車」納車式の模様は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_308\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_308_6.pdf)

(鉄道部計画課)

-----  
日本の海を守ります「ポートステートコントロール」

～巨大原油タンカーで現場研修を実施しました!～

資源の乏しい我が国のエネルギー事情から、原油の輸入は必須にして、それを支える超大型原油タンカー（VLCC）による原油の輸送は、我が国のライフラインとも言えます。

しかしながら、その VLCC が一度事故を起こせば、海洋環境への甚大な影響はもとより、我が国の社会的及び経済的損失は計り知れないものがあります。九州運輸局では海難事故等を未然に防止するため外国船舶監督官が日本に入港する VLCC に対し定期的に監督（PSC）を行っています。このような特殊な船舶に対する PSC には特別な知見が必要とされるものの、監督官のスキルアップのための実船での研修の機会が限られていました。そこでこの度（6/2～3）、鹿児島運輸支局において、西日本地区の外国船舶監督官を集め、鹿児島市にある JX 日鉱日石石油基地株のご協力のもと、同社喜入基地に入港した VLCC において集合研修を実施いたしました。

一日目の座学研修では、原油の性質、VLCC の特異な構造や荷役に係る設備及び荷役オペレーションについて学び、二日目は実際に停泊荷役中の VLCC に乗船し座学で学んだ機器類が現場において実際にどのように運用されているか、とても親切にして熱心な本船船長の先導のもとで大いに学ぶことが出来ました。研修に参加した監督官からは「有意義な研修であった」「継続して実施して貰いたい」との声があり、今後もこのような研修を実施していくことで、監督官のスキルアップに努め、引き続き船舶の航行安全及び海洋環境の保全等を図って参ります。

PSC(Port State Control): 日本に寄港する外国船に対する立ち入り検査

研修の様子はこちらの URL からどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_308\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_308_4.pdf)

(海上安全環境部外国船舶監督官)

### 3 「海フェスタくまもと」情報

7月18日の開催まで「あと37日」!

～熊本市担当者、意気込みと現況を語る～

熊本市をはじめとする有明海を囲む6市1町がタッグを組み開催される「海フェスタくまもと」、九州での開催は北九州港（昭和61年海の祭典）、鹿児島港（平成7年海の祭典）、博多港（平成16年海フェスタ）、長崎港（平成22年海フェスタ）に続く5港目となります。

7月18日の開催まであと37日、熊本市ご担当者の方から開催へ向けての意気込みと現況をお聞きしました。

<熊本市>

開催まで残すところ37日、事務局一同、さらにギアを上げフェスタの盛会に向け日々取り組んでいるところです。

海フェスタくまもとは、メイン会場を「熊本港」とし、海の総合展(通称名:ARIAKE EXPO8)の開催や大型船舶の寄港、その他各種賑わいイベントを企画準備中です。

熊本港は、築港から20年余りとまだ歴史は浅く整備中の港で、遠浅な特性があり、今回の海フェスタのように多くの大型船舶が寄港することは初めてであり、来場者にご披露できることを楽しみに準備を進めています。

現在、大型船の安全な寄港を確保するために航路・泊地の浚渫工事が急ピッチに進められているところである一方、フェスタ事務局では定期フェリー便との運航調整やタグボート調達や防舷材の確保など、最終調整に熱を入れて進めております。

その他、熊本港での各種イベントはもとより、各地(4つのゾーン)で行われるイベントの最終調整、また来場者への陸上アクセス対策として既存路線バスの増便調整等も並行して取り組んでいるところです。

今後も更に、7市1町団結し、くまもとならではの海フェスタが実現できるよう取り組んでいきます。皆様、ぜひとも今夏は『熱いくまもと』へお越しください。

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_308\\_5.pdf](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_308_5.pdf)

メイン会場へのアクセスやその他のイベント情報は、こちらのURLからどうぞ。  
<http://www.umifesta-kumamoto.com/>

#### 4 九州運輸局ホームページアップ情報 (5月28日～6月11日掲載分)

--- 報道発表 -----  
<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- お知らせ -----  
<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- 総合案内 -----  
《業務内容》  
観光地域振興課(観光地域動向調査・平成26年度 離島における観光振興策に関わる調査 掲載)  
<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file03b.htm>

--- 各種情報 -----  
《入札・契約情報》  
企画競争実施公示  
[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)  
物品・役務入札公示  
[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)  
企画競争結果の公表  
[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU\\_KEKKA](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA)

《九州統計情報》

自動車登録・整備関連（自動車保有台数、新規登録自動車数、燃料別等自動車保有台数 平成27年4月分を追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/body2.htm>

自動車交通関係（乗合バス事業の概況、貸切バス事業の概況、レンタカー事業の概況 平成25年度分追記）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/body2.htm>

--- 各種手続き-----

《海技試験制度・合格発表》

海技免状等の国家試験（総合合格発表 1級海技士（航海、機関））

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

--- 分野別情報-----

《バス・タクシー・トラック》

バス（バスの申請・処分状況 平成27年5月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/bus\\_syobun.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/bus_syobun.htm)

タクシー（タクシー事業関係公示等 一般乗用旅客自動車運送事業の公定幅運賃の範囲の指定について）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file13/ryokaku-20150601-18-2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/ryokaku-20150601-18-2.pdf)

タクシー（タクシーの申請・処分状況 平成27年5月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi\\_syobun.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi_syobun.htm)

自家用有償運送（運転者講習を実施する者一覧（H27.3.31現在））

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file14/jika-daijin-nintei270602.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file14/jika-daijin-nintei270602.pdf)

トラック（トラックの申請・処分状況 平成27年5月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/truck\\_syobun.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/truck_syobun.htm)

《自動車》

自動車の検査（参考情報更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/car/file02b.htm>

《公共交通活性化》

第18回九州地方交通審議会

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file38.html>

九州地方交通審議会委員名簿

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file01\\_09/meibo.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file01_09/meibo.htm)

《その他の情報》

九州運輸局危機管理防災対策情報（火山 口永良部島の情報更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q.html>

//////// 編集部より //

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本  
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192